

西平畑公園の虫



カブトムシ (6月~8月)



コクワガタ (6月~9月)



コアオハナムグリ (5月~10月)



ラミーカミキリ (5月~8月)



アカハナカミキリ (6月~8月)



ルリボシカミキリ (7月~9月)



ハンミョウ
(9月~10月)



アオオサムシ
(4月~10月)



オオヒラタシテムシ
(5月~11月)



タマムシ
(6月～9月)



イタドリハムシ
(4月～6月)



ジンガサハムシ
(4月～8月)



ヒメクロオトシブミ
(4月～8月)



ジョウカイボン
(5月～8月)



アカハネムシ
(4月～6月)



ゴマダラチョウ (5月～10月)



ナガサキアゲハ (5月～9月)



サトキマダラヒカゲ (5月～10月)



クロコノマチョウ♀ (6月～11月)



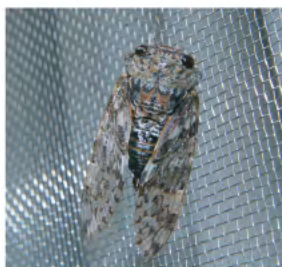
ウラギンシジミ
(3月～11月)



カノコガ
(6月～9月)



サビキコリ
(6月～8月)



ニイニゼミ
(6月～8月)



アブラゼミ
(7月～9月)



クマゼミ
(7月～8月)



ミンミンゼミ
(7月～9月)



ヒグラシ
(7月～8月)



ツクツクボウシ
(8月～10月)



ツマグロオオヨコバイ
(3月～11月)



シロオビアワフキの幼虫
(4月～6月)



アオバハゴロモと幼虫
(8月～11月)



エサキモンキツノカメムシ (4月~10月)



アカスジキンカメムシ (5月~10月)



ヨコヅナサシガメ (5月~7月)



オオホシカメムシ (5月~10月)



ヤマトシリアゲ (4月~8月)



キイロスズメバチ (4月~11月)



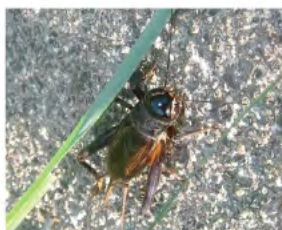
キアシナガバチ (5月~11月)



ニホンヒゲナガハナバチ (4月~6月)



オオフトオビドロバチ (6月~8月)



エンマコオロギ
(8月～11月)



ツツレサセコオロギ
(8月～11月)



ミツカドコオロギ
(8月～11月)



ハラオカメコオロギ
(8月～11月)



マツムシ
(9月～10月)



アオマツムシ
(8月～11月)



スズムシ
(8月～11月)



カネタタキ
(8月～11月)



カンタン
(8月～11月)



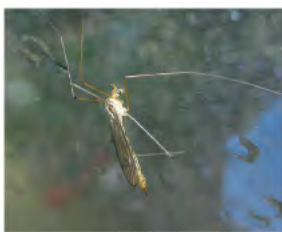
ホソヒラタアブ (3月～10月)



マガリケムシヒキアブ (5月～8月)



ヒゲジロハサミムシ
(4月～10月)



キイロホソガガンボ
(5月～10月)



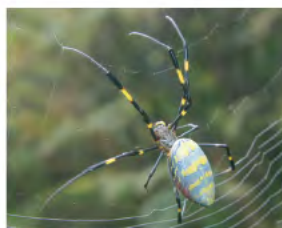
アオオビハエトリ
(6月～9月)



アズチゲモ
(ヒメヒゲナガカミキリ)
(6月～9月)



サツマノミダマシ
(7月～9月)



ジョロウゲモ
(9月～10月)



オオカマキリ (8月～11月)



コカマキリ (8月～11月)



ハラビロカマキリ (8月～11月)



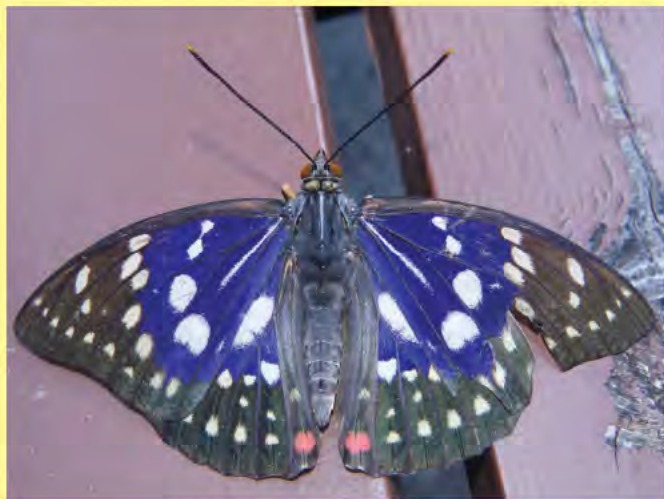
ヒナカマキリ (8月～11月)

コラム 自然館に来たオオムラサキ

例年になく暑い日が続いていた7月のある日、松田自然館に国蝶であるオオムラサキが飛んできました。自然館の壁に止まり、美しい紫色を輝かせていました。松田町で見たのは初めてなので、大感激です。

多くの来館者にも見ていただきました。初めて見た方が多く、その色の美しさ、大きさに驚いていました。以前は、関東平野の雑木林にたくさんおり、スズメバチをおいはらいながら樹液を吸っている姿をよく見ましたが、最近は大変少なくなっています。

夕方、オオムラサキを放しました。ヒラヒラと美しく林の中へ飛んでいくのかと思いましたが、とんでもありませんでした。一気に空高く舞い上がると、西の空に向かってかなりの速さで飛んでいってしまいました。何と力強いことでしょう。また感激です。身近な所にも自然のすばらしさが隠れているようです。外へ出て、ちょっと自然に心を寄せて見てみましょう。きっと、驚くような自然のすばらしさに出会えるでしょう。



西平畑公園の野鳥



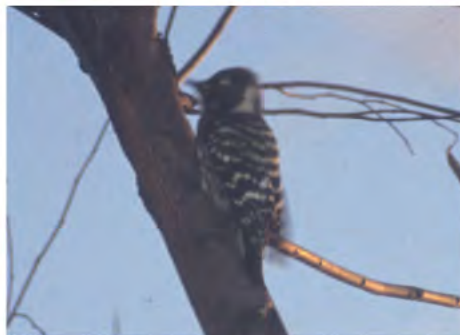
メジロ

目の回りの白い輪が目立ちます。公園の早咲きサクラの蜜を求めて群れで飛び回り、チッチッチと鳴いています。



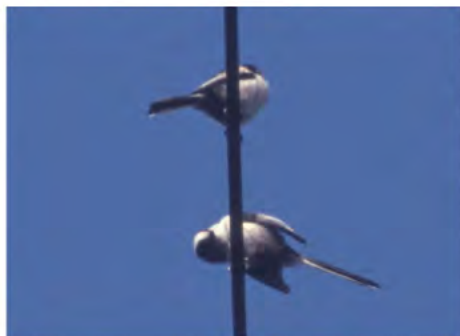
シジュウカラ

ツツピーツツピーとさえずりながら群れで樹木園に現れます。木にかけた巣も利用してくれます。黒いネクタイをしたようなかわいい小鳥です。



コゲラ

雑木林によく来て木の幹で虫をあさったり、木の実を探したりしています。白と褐色の段だら模様の背中が目につく小さなキツキの仲間です。



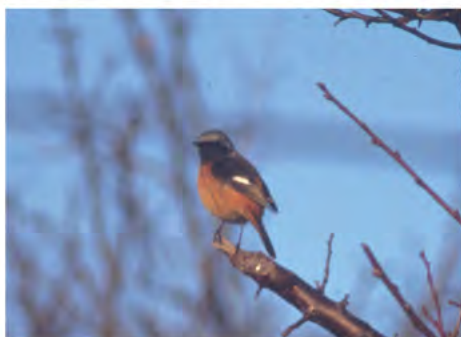
エナガ

体色が白と黒で尾の長いのが特徴です。ジュリジュリと鳴きながら虫を探す姿が自然館の窓から観察することができます。



アオジ

ホオジロに似ていますが顔や頭が黒っぽいので区別できます。冬に公園や河原によく来て群れを作っています。チッチッと鳴きます。



ジョウビタキ

赤橙色の腹や尾が目立つ鳥です。枝先などに止まり尾を振りながらヒッヒッと鳴く姿を見ると秋の深まりを感じます。



ヒヨドリ

ピーヨピーヨと鳴く声でこの鳥の飛来を知ることが出来ます。甘いものが好きらしく果物をついばみ、サクラの花を食い散らす姿を良く見かけます。



ツグミ

スズメより少し大きい鳥で秋から冬に渡ってきます。林や人里にもえさをとりに来るので見かけることが多いです。

西平畑公園の地質ガイド

東名高速道路側道の松田自然館への標示から、松田山に向かってまわたりざわ俣渡沢づたいに歩ける遊歩道があります。ゆっくり徒歩で山道を登れば20分ほどで、松田町自然館に到着できます。その遊歩道では、数多くの野草・樹木、鳥、地層・岩石を観察することができます。

この自然館・子ども館・松田山ハーブ館

のある台地は、松田山の中腹にあり山北町まで続いています。台地の下部には松田山をつくる足柄層群の地層があり、その上に箱根火山からの火山灰層や火砕流堆積物、さらにその上に富士火山からの火山灰層やスコリア層などが見られます。



松田山ハーブ館



俣渡沢の滝

自然館から鳥の鳴き声を聞きながら、俣渡沢に下りて行くと、沢には滝があり、台地の下部の地層が露出しています。これは、今から約200～70万年前に堆積した足柄層群の泥岩層で、この上位にくる火砕流堆積物・火山灰層・スコリア層より固結度が高いため、俣渡沢では滝になっています。



火山灰層

さらに沢を下って行くと、沢の横の崖に、火山灰層や古い火砕流堆積物の層が見られます。これは、約40万年前に火山活動を始めた箱根火山から噴出して、たまったものです。また、今は露頭は見られませんが、昭和63年の東名高速道路の拡張工事の際に、6万5千年前の東京軽石流堆積物と

その下部の降下軽石層が、高速道路の山側の崖に露出していました。これは箱根火山から噴出したものです。自然館の近くの道路横の崖には、土壌化した火山灰層やスコリア層が見られます。これは約10万年前に火山活動を始めた富士山によるものです。偏西風の影響で富士山の東側に当たる松田山にも多くの火山灰が降り積もりました。火山灰を水で洗い出し、ルーペで見ると、黄色く透明なカンラン石の結晶（鉱物）に気づきます。また、1707年（宝永4年11月）に発生した富士宝永噴火により、灰黒色・砂状のスコリアが、20～30cmの厚さにたまりました。

松田山は足柄平野の北側にあたり、地形的には平野が急に山地に変化し、その急な崖が山北町まで続いています。この山地と平野の境界部分には、国府津—松田断層の連続として松田北断層があると考えられています。また、国府津—松田断層は相模湾の相模トラフの延長で、フィリピン海プレートが北米プレートと衝突して沈み込む場所とも考えられています。



富士火山灰